

## 青少年奉仕担当委員会アワー

●国際ロータリー第 2680 地区 前青少年奉仕委員長 三木健義様

「青少年奉仕について」



奉仕の第五部門である青少年奉仕は、「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらせることを認識するものです」と、標準ロータリークラブ定款第6条に記述があります。

このプログラムの体験者から、このプログラムによって自分の中に大きな変化が起こったという報告がなされており、この奉仕活動によって、世界中で起こっていることへの気づき、奉仕活動への動機付け、ロータリーを知り深く馴染むきっかけとなりますし、ロータリーの理念を持っている会員が青少年と関わりを持つことにより、青少年の心に大きな変化が生じる可能性があります。変化は必ず起きるとは限りませんが、青少年奉仕の種を蒔き続けることにより、どこかで発芽し大きく育つかも知れない、その可能性を育てていく活動が継続して実施されてきました。

歴史では、初期の頃から社会への奉仕を考え始めたロータリーは、青少年奉仕に関心を抱き、奨学金制度の創設や寄付などの支援を中心に行っていたことが記されています。後に人を育てる方向に変わっていき、1960年代、世界中の青少年が共に活動できる組織を作ろうという機運が高まりました。1962年、国際ロータリー理事会でインターアクトプログラムが採択され、次いで1968年にローターアクトプログラム、1971年にロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、1974年には青少年交換プログラムが採択されました。

1996年、ルイス・ビセンテ・ジア元国際ロータリー会長がカルガリー国際大会で、「成功と失敗を分かち要素は、未来へのビジョンです。これはかつてないほど真実であると言えます。新世代は未来への投資です。今日から、未来を築き始めようではありませんか」と述べ、新世代奉仕がスタートし、2010年には規定審議会で、新世代奉仕が五番目の奉仕部門となりました。2013年の規定審議会で、「新生代奉仕」という名称は「青少年奉仕」に戻り現在に至っています。

最近では2019年、ローターアクトが国際ロータリーの加盟クラブとなり、プログラムから外れて独立しました。

青少年奉仕の3つのプログラムについては、対象年齢の若い順に、まず12歳から18歳までのインターアクトプログラムがあります。「インターアクト」はインターナショナル（国際的）とアクション（活動）を組み合わせた造語で、国際的活動を意味します。地区内では高校のプログラム活動が中心です。ここ3年はCOVID-19まん延の影響を受けて、クラブ活動が難しい状況でしたが、今年度は日帰りですが、ネスタリゾート神戸で地区大会を開催することができました。

同年代の高校生を対象とした青少年交換プログラムについても、COVID-19の影響で2年間プログラムが中止となっていました。今年度は5名の生徒が台湾、ブラジル、ベルギー、イタリアに派遣され活動体験をしています。

当地区では20歳以上を対象としている青少年指導者養成プログラム（RYLA）も、2年間中止しておりましたが、昨年度は神戸ポートピアホテルで、そして今年度は神戸YMCA余島野外活動センターで開催することができました。

参加者からは、自分の心の奥深くに眠る、ふだんは他人と共有することのない、答えのない問に対する考えを交わすことができたといった感想もあり、積極的に外に目をむけることができるよう自分を変えることができた参加者もいました。RYLA セミナーには、ロータリアンが直接関わることができますし、参加者がグループワークを通して、より意識を高められるような周到に準備されたプログラムが用意されています。

また、当地区では青少年交流会や、ロータリーファミリーのつどいなど、青少年プログラムの参加者や卒業生、それに加えて財団奨学生や米山奨学生、学友が相互に交流を図っていくプログラムも実施してきています。

最後に、亡くなられた当地区のPast Governor 深川純一先生は、「純ちゃんのコーナー」の中で、青少年に対する倫理教育が戦後欠落したことを憂い、日本の最重要課題は、環境問題でも、経済問題や財政問題でもなく、青少年の教育問題で、人間は本来如何にあるべきか、ということ教える倫理教育の欠落だと仰っていました。教育とは国家百年の大計で、民族の興亡に関わる問題であり、ロータリーは倫理運動であるならば、これに手をつけない訳にはいきません、と述べておられます。

世界が如何に広くとも、世の中を動かしていくのは詰まることころ一人一人の心です。ロータリアンの皆様が、青少年奉仕を通して参加者を支援し心を育て、自らも影響を受けることにより、奉仕が実りあるものとなっていくことを祈念致します。